

■平成26年4月1日発行
 ■編集発行：宮崎県美郷町
 ■宮崎県東臼杵郡美郷町
 西郷田代1番地
 ■TEL 0982-66-3601
 ■FAX 0982-66-3137
 ■ホームページ
<http://www.town.miyazaki-misato.lg.jp/>



初日早朝、地蔵堂より全長寺本堂へ

本堂でのご参拝

うなまエイサー琉星會の演舞

ご開帳に長蛇の列 宇納間地蔵尊大祭

美郷三大祭のひとつ宇納間地蔵尊大祭が2月22日(土)から24日(月)の3日間にわたり開催されました。今年は60年に1度の地蔵尊ご開帳の年にあたり、例年の倍以上となる約5万人の参拝者で賑わいました。



平成25年度美郷町金婚祝賀会

結婚50周年を迎えられたご夫婦を祝う「美郷町金婚祝賀会」が2月26日(水)、西郷ニューホープセンターにおいて開催されました。
 今回、美郷町で金婚式を迎えられたご夫婦は、南郷地区6組、西郷地区3組、北郷地区10組と計19組いらっしゃいました。
 式典では、尾畑英幸町長から祝い状と記念品が手渡され、出席された方々は、半世紀もの年月に思いをめぐらせ、思い出話に花を咲かせました。また、幼稚園児の踊りやボランティアによる舞踊などのアトラクションを楽しみ、最後に参加者全員による記念写真で幕を閉じました。
 金婚の皆様におかれましては、これからも元気で夫婦仲良く「ダイヤモンド婚(60周年)」を目指してください。おめでとうございます。



水清谷梅まつり 今回は雪景色も

美郷町に春を告げる、水清谷梅まつり(水清谷ふるさと再生委員会主催)が、2月16日(日)に開催されました。直前の週末に降った雪の影響が心配されましたが、大会主催者によりコース上の雪は除雪され無事開催されました。100名を超える参加者は、受付会場からの往復約4kmのウォーキングを、6分程に咲いた梅の花と雪景色との対比を眺めながら楽しんでいました。
 ゴール後には大鍋による豚汁で体の中も温まり、特産品等の抽選会もあるなど、早春の穏やかな一日を満喫されたようでした。

	前月	今月	増減	
人口	男	2,803	2,802	△1
	女	3,023	3,019	△4
	計	5,826	5,821	△5
世帯数	2,473	2,471	△2	

平成26年3月1日現在(現住人口による)



梅並木ウォーキング



雪と梅の花

平成26年度美郷町施政方針

平成26年3月7日に召集された第1回美郷町議会定例会において、平成26年度の各会計予算が上程され、尾畑英幸町長から施政方針が示されました。



2月2日に行われました町長・町議選挙で、町民みなさまのご支持をいただき3代目の町長として選出されました。これまでの私の訴えがきちんとご理解いただき、ありがとうございました。初心を忘れることなく、「目線は住民・住民が主役」を肝にしっかりと掘り進めてまいります。町民の福祉の向上に邁進してまいります。

ます。皆様方より叱咤はもちろんのこと、ご教示、ご指導を賜りたいと衷心よりお願い申し上げます。

新年度の骨格予算及びび関連議案のご審査をお願いするに当たり、私の政治信条であります「誠実・堅実・迅速そして情熱」をベースに、住みよい心豊かな町を目指し、①農業と商工業を連携させ「伸びゆく」町づくり ②高齢者・障がい者に「やさしい」町づくり ③生涯教育を充実し育む「学びゆく」町づくりの三つの「町づくり」を基本理念として、私の所信の一端を述べさせていただきます。議員各位を始め、町民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

世界経済は、2008年（平成20年）秋のリーマン・ショックがギリシャに飛び火し、欧州危機へ発展したところ

るですが、金融・財政危機を収束した先進国の景気が持ち直したため、前途に明るさが見えてきたところです。ただ、米欧の政策運営には、まだ不透明感が残り、中国など新興国経済の減速にも注意が必要と考えるところです。

「負の連鎖」をようやく抜け出しつつあるのは、危機の震源地だった米国の景気が底堅く推移始めたのが主因であり、景気後退が続いた欧州経済もプラス成長に転じようとしています。より力強い成長を実現し、本格的な景気回復軌道に乗れるかどうか、分水嶺の1年となるとうとマスコミでは報じているところです。

国内を見ると、第2次安倍内閣が発足して1年が経過しました。昨年夏の参院選で衆参両院のねじれを解消し、自民党が突出する、いわゆる「1強多弱」体制となりつつあります。国の26年度

一般会計予算は、95.9兆円（昨年度当初予算比3.5%増）と過去最大に膨らみ、首相は、25年度の補正予算5.5兆円と一体の15か月予算と位置づけ、「景気回復を全国津々浦々に届けて力強い成長につなげたい」と発信しています。しかしながら、TPP（環太平洋経済連携協定）交渉は未だ予断を許すことのできない状況に加え、減反政策の見直し、消費税が5%から8%へ増税、そして国と地方の長期債務残高が26年度末で1,000兆円を突破してしまうことなど、われわれを取り巻く状況は決して楽観できる現状ではないことも確かです。

アベノミクスは、3本の矢のうち、大胆な金融緩和と機動的な財政出動の2本の矢によって、景気を持ち直し、株高・円安も実現するなど、一定の成果を上げてきています。続く成長戦略という3本目の矢が、民間主導の持続可能な経済成長を実現するという的を射て、わが町にもしっかりとその波及効果が生まれてこなければならぬと思います。

さて、県民悲願でありました、東九州自動車道と、町民が待望していました「美郷トンネル」がいよいよ開通間近となりました。

た、東九州自動車道と、町民が待望していました「美郷トンネル」がいよいよ開通間近となりました。

東九州自動車道では、日向1都農間（20km）が26年3月に開通予定となり、宮崎1延岡間が高速道路で結ばれることとなります。また、26年度末までには、宮崎1北九州間（321.3km）が開通見通しとなり、ようやく本県も高速道時代の到来で、物流・経済・観光面の活性化が期待されるところです。更には、本町の南郷と西郷間の美郷トンネルが昨年末までに貫通いたしました。現在、トンネル内の舗装や電気工事を実施中ですが、遅くとも今年12月頃までには旧道と連結させ、一部供用開始となる運びとなります。小原峠超えは狭隘な交通状況ですが、開通後は、精神的にも、時間的にも大きな軽減となることと思えます。これも偏に町民皆様や議員各位のご支援の賜物であり、厚く御礼申し上げます。残りの水清谷工区、日平工区の取り付け部分の道路改良を県に強く働きかけ、早期全線開通に力を注ぎたいと考えています。

作物を中心とした生産目標達成に向け、栽培面積の拡大・栽培技術等の向上を図ります。

③ 耕畜連携を推進するとともに、関係機関及び畜産農家と連携を図りながら、防疫対策を推進します。

④ 森林経営計画に沿った森林整備や素材生産の振興を図るとともに、森林経営計画を実行するために施業従事者の確保と人材育成を推進します。また、林業経営の安定を図るため、関係機関団体と連携し、木材価格の安定化確保と木質バイオマス燃料である未利用木材の有効利用を図ります。

⑤ 椎茸、木炭等の特用林産物の品質向上と価格の向上を図るとともに、安定経営のため、継続して各種事業を支援します。さらに、新たな販路拡大により安定した収入確保と生産量の拡大に努めます。

⑥ 鳥獣被害対策については、関係機関や団体と連携協調して、捕獲による個体数削減や防護施設の設置等

による対策を強化し、被害軽減を図ります。

2. 商工業・観光の振興

景気がようやく回復の兆しへ進みつつあるようですが、地方にこの影響が及ぶにはまだ時間が必要な感があります。不安定な要素もまだまだ多いことから、商業の維持活性化のため、新年度においても商工会合同商品券事業を取り組んでいただくこととしております。

観光振興については、26年3月に県内全面開通する東九州高速道路も見据えながら、ホームページ等による情報発信の強化や観光資源の見直し整備を行い広域での取り組みを行います。

3. 道路環境・交通体系の整備

地域の基本的な社会資本である道路環境・交通体系の整備については、「豊かで活力ある安全・安心な郷づくり」を図る上からも、重要な施策の一つであります。国の制度事業等を活用しながら計画的な整備を進めてまいります。

国・県道の整備につきましても、国道388号の改良

整備が最も重要であり、美郷トンネルは26年度の開通を目指し順調に工事が進められており、早期完成（供用開始）に向けて継続要望してまいります。また、南郷区鬼神野牛山工区は25年度より計画的な整備が進められています。さらに北郷・門川間につきましても同路線の最重要整備区間として、要望活動を継続してまいります。

県道4路線についても計画的な整備が進められていますが、今後とも継続し要望活動を進めてまいります。町道整備につきましても、有利な制度事業の活用により、地域の実情に即した整備はもとより、適正な維持管理と道路環境の整備に努めてまいります。

なお、整備の遅れている集落内の生活道路については、年次計画で整備を進めてまいります。

4. 水道施設・生活排水処理施設の整備

町民生活に欠くことのない簡易水道は、安全な飲料水を安定して供給するため、老朽化した施設の改修更新を計画的に進め、施設の適切な維持管理に努める考えであります。

また、住民管理の小規模な給水施設についても、高齢化などにも配慮し、設備の整備や維持管理に支援をしてまいります。

5. 環境衛生の充実

今日の環境問題は、消費生活の多様化により、全国的にごみの排出量が増加しており、深刻な問題であります。本町を含む5市町村で構成する日向東臼杵広域連合と連携して、処理経費の削減と圏域の環境美化に取組むとともに、町民と協働のもと、生ごみの自家処理の推進、ごみ分別の理解を求めながら、資源化、減量化に取り組んでまいります。

6. 環境保全の推進

本町は、四方を、緑豊かな山林に囲まれ、小丸川、耳川及び五十鈴川の三つの河川が流れる自然環境に恵まれた地域であります。この豊かな緑や清流を保護するた

1. 農林業の振興

本町の基幹産業である農林業の振興は、最重要課題であり、重点的に取り組んでまいります。特に農林業の担い手の確保と育成対策の充実を図り、農林業の振興と地域活性化を推進します。また、6次産業化の推進対策を展開するとともに、以下の対策にも積極的に取り組んでまいります。

① 国の農業政策見直しに伴い、関係機関等と連携し事業推進を図り、農家の経営安定に努めます。

② 美郷町総合計画に定めた

め、治山治水事業を推進するとともに、町民への啓発活動を行ってまいります。

7. 住宅環境の整備

人口の定住化と地域の振興を図るため、年次計画により宅地の造成をはじめ、住宅の整備を進めてまいります。また、空家対策については、現在、町内の実態を把握中であり、その調査結果を踏まえ空家対策条例の制定も視野に入れながら、今後の空家対策を進めてまいります。

町営住宅(261戸)につきましては、適正な維持補修に努めてまいります。

8. 情報通信基盤の整備

情報化対策については、住民情報や税情報の自治体クラウドへの移行が終了し、今後は社会保険・税番号制度システム等の制度改正への対応が主となります。また、CATVの整備は町内全域のネットワーク整備が構築されたことにより、大きなインフラ整備が終了しましたので、自主放送の充実を含めその安定運営と維持管理に取り組みこととします。すべ

ての住民がICTの恩恵を享受できるよう、今後とも地域情報化の推進に取り組みこととします。

9. 福祉の充実

(社会福祉)

少子高齢化が進む中、誰もが住みなれた地域で、安心して生活できるまちづくりが必要であります。行政による各種施策の実施はもとより、その重要な役割を担う町社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会及び民間福祉団体の活動を支援してまいります。

(児童福祉)

近年の少子化や核家族化、女性就業率の上昇など、児童を取り巻く環境は大きく変化しております。安心して子どもを産み育てるための施策として、出産奨励金の支給、医療費の助成、地域の実情に即した保育サービスを提供することともに、関係機関と連携を密にし、児童虐待の防止に努めてまいります。

(母子寡婦・父子福祉)

近年の母子家庭等をめぐる情勢が変化する中で、母

子家庭等の自立促進を図りながら、児童の健全な成長を確保することが重要な課題となっております。子どもの養育や経済面・健康管理など多くの困難を抱えており、経済的に自立するための就業支援や医療費の助成などを推進してまいります。

(高齢者福祉)

町の高齢化率は45%と高いため、高齢者の交通弱者対策や民間を活用した配食サービス体制の確立、高齢者の意向を確認した上で高齢者向け集合住宅の整備に取り組みとともに、引き続き一人暮らし高齢者などの個別訪問事業や在宅介護支援をすすめる、生きいきと充実した生活ができるよう、高齢者福祉に取り組みしてまいります。

介護保険事業では、介護状態を予防することが重要であり、運動促進、栄養改善など取り組みながら、特別会計の安定した運営を図ることと、様々な介護サービスが円滑に提供できるよう努めてまいります。

また、後期高齢者医療事業特別会計の健全な運営に努め、高齢者が安心して医療を受けられる体制を堅持してまいります。

(障がい者福祉)

障がい者の日常生活や社会生活を支援するため、地域生活支援事業を的確に実施するほか、障がい者が住み慣れた地域で社会と共生できるよう配慮してまいります。障がい者やその家族の団体を支援し、相談支援専門員の確保を図るなど、障害者福祉の充実に努めてまいります。

10. 保健・医療の充実

(医療サービスの充実)

国保病院及び診療所事業については、地方公営企業法とそれに準じての独立採算を目指しながら、同時に地域住民の保健、医療、福祉を担うという政策医療機関の立場にもあります。今日まで一貫して、医療はもとより、保健、福祉の面においても中核的な役割を担う施設として、地域包括ケアの推進に努めてきたところであります。一方、経営面における近年の状況として、診療報酬制度の見直しは、2年毎に行われ、平成22年度、24年度の過去2回の改定では微増であったものの、小規模病院へのメリットはありませんでした。本年度での改定では、経営維持のためにも小規模病院に



対する措置に大いに期待するところであります。

医師の確保については、地方の医療機関はもとより、中核の医療機関に対しても大学からの医師派遣が中止になるなど、医療崩壊は益々深刻になってきており、へき地医療の中心的な担い手として、県が行っている自治医科大学医師の配置も、地域の要請に応えるには十分でなく、26年度も非常に厳しい現状にあることは変わりありません。

医師の確保は医療行政上、最も大きな課題の一つであります。本町におきましては、幸いに24年度、1名の定着医師の確保が出来まし

た。今後ともしっかりと医療機関での診療充実はもとより、地域に向けて住民の安心と安全を担保することに努めてまいります。

そのための方策の一つとして、22年度から毎年、町内の全地区で実施しました「地域医療と健康を考える座談会」により、医師と住民との「絆」が醸成され、地域職員発議による「美郷町の地域医療を守る条例」が制定されました。

更に、24年度には「みんなで守ろう地域医療」を合言葉にした「パンフレット」を全世帯に配布し、啓発活動にも努めました。今後とも「住民の大応援団」があることが、美郷町における医療維持の大きな支えとなります。

また、24年末に完成した地域医療交流施設は、臨床研修医や医学生などが研修に来た際に、本町の医療スタッフを始め、多くの異業種の方々とのへき地医療の実態などを体感してもらおうことにより、将来の定着医の確保を目指すものであり、本年度も、「地域医療の拠点化」と「総合医の育成」の場として広く活動してまいります。

このようなか、町内の3つの医療施設を総括する「地

域包括医療局」を軸として、美郷町の重要な医療を担っていくとともに、さらに福祉も含めた連携体制を強化し、本年度も次の三つのことを重点的に進めてまいります。

一つには、「地域医療機関の連携強化」による、役割分担と支援体制づくり

二つ目には、「医療と地域との信頼」醸成強化による、明朗・親切・丁寧な対応、かかりつけ医療機関としての役割り発揮

三つ目には、「1次医療(美郷町内)と2次・3次医療とのネットワーク強化」による、住民の安全・安心医療の確立

(健康づくりの充実)

健康は町民生活の基木であり、健康知識の普及と運動教室、食生活改善の取り組み、各種検診の受診率向上と事後指導の徹底、地域や地域団体との連携を図るなど、健康づくりが町民生

活に深く浸透し、健康長寿の町となるよう取り組んでまいります。

また、乳幼児健診や歯科保健を充実させ、子どもの健全な成長を支援するとともに、予防接種の助成や心の健康づくりにより、疾病や自殺の予防にも充分配慮してまいります。

11. 防災対策の充実

本町は、地理的・自然的条件により台風や梅雨時期等の集中豪雨などによる風水害や土砂災害が発生しやすい状況にあります。このことから、美郷町地域防災計画に基づき、万全な防災体制の確立を目指します。

12. 消防・救急体制の充実

非常備消防自治体の本町では、消防団が唯一の消防機関であり、地域防災の要であります。町としましては、消防施設の充実や団員の確保、活動環境の整備、併せて自主防災組織の育成強化など、防災力の向上に取り組みます。救急業務については、業務の一部を民間に委託するなど住民サービスの充実に努めております。平成25年度よ

り高規格救急車を導入し、更に迅速な対応と効率的な運用に努めます。また、日頃から業務内容の事後検証を行うとともに、施設の整備や従事者への教育・講習等を実施し、業務の充実に努めます。

13. 治山・砂防・河川対策の充実

町民の安全で安心な生活を確保するため、治山事業、砂防事業・急傾斜地崩壊対策事業・河川事業など、国・県の制度事業を積極的に活用し、対策を講じてまいります。

14. 防犯対策の充実

防犯対策については、町民の防犯意識の高揚を図るとともに、防犯灯の整備・充実に努めるなど犯罪の未然防止に努めます。

15. 交通安全対策の充実

交通安全対策については、警察や交通安全協会、交通指導員会等の関係機関団体と連携を図りながら、交通安全思想の一層の普及啓発に努め、交通安全施設の点検や改善を行います。

16. 教育の振興

本町の教育全般の振興を図るため、教育基本法の理念及び宮崎県教育基本方針を踏まえ、人間尊重の精神を基本とし、一人一人が豊かな人間性を培い、変動する社会に創意工夫と生きがいをもつて対応できるように、「たくましい体」「豊かな心」「すぐれた知性」を備え、郷土並びに国家の有為な形成者として、心身ともに調和のとれた人間形成をめざして、教育推進を図ります。

次代を担う人づくりを基本として、①生涯学習の推進、②学校教育の充実、③社会教育の推進を図ります。また、魅力ある地域づくりを基本として④コミュニティ対策の充実、⑤伝統文化の継承と活用を図ります。

①生涯学習の推進

住民の学習意欲の高まりは、まちづくりの活性化につながります。すべての町民があらゆる機会、あらゆる場所を利用して、自ら意欲的に学習に取り組み、自己の充実と生きがいを目指すこととして、生涯学習の効果的な運営を図り、真に町民が期待する各種学級、講座、教室

等を開催します。

芸術・文化の振興については、文化活動基盤の充実に努めるとともに、優れた芸術や文化の鑑賞、芸術・文化団体の発表の場としてのイベント開催や指導者・後継者の育成、各種講演会を開催するなど文化活動の環境整備に努めます。

町民の健康意識が年々高くなっており、生涯スポーツの推進は体力向上や健康増進のみならず地域の人々との輪をつなげる大きな役割と意義があります。スポーツ・レクリエーションの振興については、町民の一体感の醸成を図ることを目的に、日常生活において町民が気軽に親しめる環境づくりに努めます。また、町体育協会や各種スポーツ団体との連携を強化し、美郷町スポーツデーの実施、その他各種大会を計画しながらその競技力の向上、スポーツによる町民の交流を図ります。

② 学校教育の充実

小・中学校の教育については、児童生徒一人一人の個性や能力を最大限に伸ばし、「知・徳・体」の調和のとれた健やかな児童生徒の育成を目標とし、県の重点施策を

総合的・体系的に示した「第二次宮崎県教育振興基本計画」の趣旨を踏まえた施策を展開します。さらに、本町の教育資源を生かし、「ふるさとを愛する心と豊かな国際感覚を育み、確かな学力を身に付け、自分に自信と誇りがもてる、心豊かな人材を育成すること」を目標とした「美郷ならではの教育」推進を目指し、小中一貫教育の具現化に向けた取組を積極的に実施します。

平成27年4月に開校を指し北郷区施設一体型小中一貫教育(北郷幼稚園・黒木小学校・北郷小学校・北郷中学校)の施設整備を図ります。また、開校4年目を迎える南郷区美郷南学園の施設一体型小中一貫教育の推進と西郷区における連携型小中一貫教育のさらなる充実に応じた特別支援教育の推進と、児童生徒一人一人を大切に育てる生徒指導の充実、町独自の研修会等による教職員の指導力・資質向上に努めます。

幼稚園教育については、幼児期の特性を踏まえた幼稚園教育の充実と教育環境の整備とともに、町民生活課や関係機関と連携しながら就

18. 伝統文化の継承と活用

美郷町の各地には古くから地域に根ざした民俗文化があり、地域住民の手によって大切に伝承されています。これらの民俗文化は、地域文化の振興を図る上で貴重な資源でありますので、伝統芸能等の保存、継承を図るために後継者や指導者の養成を積極的に支援します。また、伝統芸能等の発表の場としてのイベント開催を行い、地域文化の発信と伝統文化にふれる機会を充実させることに努めます。

19. 国内外交流の推進

沖縄県豊見城市と行っている国内交流は、当町産の椎茸や米などを直接販売する

など経済交流を軸として展開しております。今後は新たな商品の販売や販路の拡大を視野に入れながら継続していきたく考えます。

① 広報公聴の充実

地方分権が推進されている今日、制度上地域の特性に応じた施策を実現する環境が整備されてきました。地域の特性を生かした住み良い地域社会の形成には、町民の声を施策に反映させることが重要です。

② 住民参加の促進

まちづくりに関心を持ってもらうため、町政に関する広報を充実させ、さまざまな

学前教育の充実に努め、義務教育への総合的な指導のながれを一貫したものとし、小学校以降の生活や学習がスムーズになるよう努めます。また、保護者との教育相談や家庭教育の充実を図り、家庭と連携した幼稚園教育を進めます。

③ 社会教育の推進

少子高齢化や国際化、情報技術革新など急激に変化している社会においては、学習活動を継続して行なわれる学習社会の構築が求められています。町民が生きがいを持つて過ごせる学習社会をつくることや個人や地域が抱えている課題を解決するための多様な学習要求に対応していくことが肝要であります。この学習社会を構築する教育の場を積極的に提供し社会教育の推進を図ります。

青少年交流事業や子どもの体験活動推進事業を継続的にまた積極的に推進するなど、健全な青少年育成教育をはじめとして成人や女性、高齢者教育の充実を図るとともに各種ボランティア活動に取り組み意識の高揚

媒体を活用し、町民が情報を得られるよう努めます。

② 町民との協働の推進

地方分権に基づく住み良い地域社会の形成には、行政と町民との良好なパートナーシップが重要です。町内の各地域が主体性を持ち、その能力を十分発揮して活動できるように積極的な支援を行い、行政と町民が協働したまちづくりを推進していきます。

21. 行政運営の充実・強化

① 効率的な行政基盤の確立
事務処理におけるムダの削減や職員数の適正管理により行政コストの縮減に努めるとともに、簡素で効率的な組織運営により多様な行政需要への迅速・適格な対応に努めます。

② 職員資質の向上

全町的な視点を持った施策を確立・推進し、新たな行政課題や突発的な事象にも迅速かつ円滑に対応できる職員の育成に努めます。また、町民の視点に立った接遇により、誰もが立ち寄りやすい、相談しやすい役場づくりに努めます。

や活動の促進に努めます。更に、人権教育の充実や国際理解推進のための研修、情報教育の推進強化等に努めます。

町内の貴重な史跡や文化財の保護に努め、さらに町内の各地区・各地域に残る文化財の調査に努め、適正に保存・継承することに努めます。また、町文化協会の組織強化や各芸術・文化サークル活動の育成を図り、伝統芸能等の文化事業を積極的に支援します。

家庭教育では、「生きる力」「心の教育」の基盤を確立するため、すべての教育の出発点であるとの認識を深めるとともに、家庭が本来果たすべき役割を見据え、家庭の教育力向上に努めます。

17. 地域コミュニティ対策

地域住民の活動や交流の場となる施設の有効利用や整備充実を図ることで社会教育団体が活発な活動を行うことができ、地域活力の促進につながります。地域コミュニティの活性化を図るため、その核となる自治公民館の活動に対する支援体制の充実を図ることを第一に、婦

22. 財政運営の充実・強化

住民福祉の向上のためには、財政の健全化が不可欠であります。一層の自主財源の確保と節減合理化を徹底し、限られた財源の重点・効率的な配分が重要であります。

そのため、暮らしや安心して住める地域づくりのために使われる重要な自主財源である町税については、公平かつ適正な賦課徴収の実現を図りながら、税収の確保に努めるとともに、自主納税の推進と厳正かつ効率的な執行にあたることにより徴収率の向上に努め、「公平負担で充実した町づくり」に努める所存であります。

次に、固定資産税と関連のある地籍調査事業については、土地所有者の財産権の保護、災害復旧事業や公共事業の円滑な実施、課税の公平化など、安定的な町づくりの基礎データとなるものであり、南郷区の調査事業を進めています。

本年度は、平成25年度に一筆調査した水清谷地区5字、8・45K m²の地積(面積)測定、認証請求業務と平行して、新たに上渡川地区5字、9・46k m²の一筆地



人連絡協議会や青年団連絡協議会、老人クラブ連合会と子ども会育成連絡協議会などの社会教育関係団体等の活性化を図ります。また、町民と行政との「協働」のまちづくりの促進のため、自治公民館組織などの各地域団体の連携強化に努めます。

また、地域交通対策は、住民の通院などの移動手段を確保する必要不可欠な施策の一つです。町地域交通計画に基づき、現在まで総合的な検討を重ね、これまで北郷・西郷のコミュニティバスの2回目の見直しを実施しました。また、25年度は南郷区の乗合タクシーの見直しを行い4月からの実施を予定し

調査と測量業務を実施する計画であります。

この結果、平成26年度末には、累積面積が114.12k m²で65.01%の進捗率になる予定で、今後とも計画的な地籍調査事業を推進していく所存であります。

(むすび)

新年度の予算については、骨格予算として主に義務的経費など基本的な行政運営費を計上して予算編成を行いました。一般会計予算は、総額が71億272万円になりました。

平成25年度当初予算との比較では、4億1千431万7千円、5.5%の減額となりました。

まず歳出では、骨格予算という性格から、25年度の予算と比べると、農林水産業費、商工費、土木費、災害復旧費が減額となりました。

主な計上額については、総務費が10億1千987万4千円、民生費が8億3千413万3千円、農林水産業費が10億6千224万2千円、土木費が4億7千207万2千円、教育費が4億6千350万3千円、公債費が12億1千138万6千円、特別会計繰出金等、諸支

議長 甲斐 栄

副議長 甲斐 秀徳

美郷町議会構成表

平成26年2月17日構成
任期:平成30年2月11日

◎委員長 ○副委員長

常任委員会

総務常任委員会	文教厚生常任委員会	産業建設常任委員会	議会運営委員会
◎ 黒田仁志	◎ 甲斐勲一	◎ 小田照男	◎ 黒田仁志
○ 森田久寛	○ 小路文喜	○ 新玉卓教	○ 甲斐勲一
那須富重	富井裕瑞	尾上忠保	小田照男
甲斐 栄	園田義彦	甲斐秀徳	甲斐秀徳

日向東臼杵広域連合議会議員

甲斐 栄
甲斐 勲一

入郷地区衛生組合議会議員

甲斐 勲一
小路 文喜

宮崎県北部広域行政事務組合議会議員

黒田 仁志
甲斐 勲一

国道388号整備促進特別委員会

◎ 小田 照男
○ 新玉 卓教
那須 富重
尾上 忠保
黒田 仁志
富井 裕瑞
森田 久寛
甲斐 勲一
園田 義彦
小路 文喜
甲斐 秀徳

議会広報特別委員会

◎ 黒田 仁志
○ 森田 久寛
那須 富重
甲斐 秀徳
甲斐 栄

議会選出監査委員

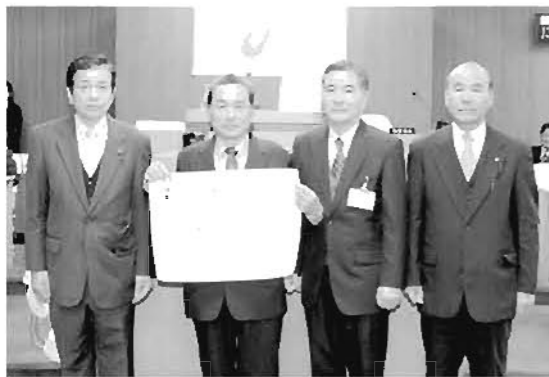
園田 義彦

議会事務局

局長 平田 幾次郎
書記 佐藤 ひとみ

※2月17日現在の職員です。

故・早瀬哲雄氏 旭日章受章



昨年11月に逝去されました故・早瀬哲雄氏(北郷地区入下)が旭日章を受章されました。

早瀬氏は、昭和50年から昭和62年までの3期12年の長きにわたり、旧北郷村議会議員として在職され、在任中は産業経済常任委員会委員長などの要職を歴任されました。

長年にわたり地方自治の発展と円滑な議会運営にご尽力されたほか、旧北郷村農業委員としても12年間在職されるなど、基幹産業である農林業の発展と、産業振興に大きく貢献されました。今回これらの功績が高く評価されたものです。

出金に11億4千623万5千円を計上しました。

歳入予算では、地方交付税が41億4千191万1千円、全体の58.3%、町税が5億5千746万4千円、国県支出金があわせて7億7千448万7千円、財政調整基金から1億9千万円を繰入れ、町債は、臨時財政対策債1億8千900万円、合併特例事業債3億870万円を含む8億6千870万円を計上しました。

次に、特別会計では、国民健康保険事業特別会計が11億5千998万3千円、後期高齢者医療特別会計が2億2千516万6千円、介護保険事業特別会計が10億4千309万4千円、簡易水道事業特別会計が2億4千640万6千円、農業集落排水事業特別会計が1億2千509万7千円、さらに国民健康保険診療所事業特別会計が3億3千351万8千円となりました。

また、国民健康保険病院事業会計の収益的収支と資本的収支は、6億2千658万1千円を予定しており、医療収益は4億1千524万5千円を見込んでいます。



このことから、7つの特別会計の予算総額は、37億5千984万5千円となり、一般会計と合わせ、平成26年度予算総額は、108億6千256万5千円となりました。

以上、平成26年度の施政方針と予算規模について述べましたが、これらは、現時点で必要な経常的な経費を主な内容として編成されております。

今後、肉付予算の編成を行い、新たな施策を展開していく所存であり、「豊かで活力のある美郷町」安心して生活できる環境整備のため、全力を尽くしてまいりたいと存じます。

町民の皆様と議員各位のなお一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

平成26年度 一般会計予算(歳入)

(単位:千円、%)

区 分	金額	構成率
町 税	557,464	7.8
地方譲与税	117,005	1.6
利子割交付金	800	0.0
配当割交付金	336	0.0
株式等譲渡所得割交付金	100	0.0
地方消費税交付金	42,196	0.6
自動車取得税交付金	20,431	0.3
地方特例交付金	463	0.0
地方交付税	4,141,911	58.3
普通地方交付税	3,921,911	55.2
特別地方交付税	220,000	3.1
交通安全対策特別交付金	500	0.0
分担金及び負担金	17,801	0.3
使用料及び手数料	76,926	1.1
国庫支出金	256,921	3.6
県支出金	517,566	7.3
財産収入	37,416	0.5
寄附金	6,002	0.1
繰入金	192,013	2.7
繰越金	100,000	1.4
諸収入	148,169	2.1
町 債	868,700	12.2
計	7,102,720	100.0
(自主財源)	1,135,791	16.0

平成26年度 各会計当初予算

(単位:千円)

会 計 名	金額
一 般 会 計	7,102,720
国民健康保険事業特別会計	1,159,983
介護保険事業特別会計	1,043,094
簡易水道事業特別会計	246,406
農業集落排水事業特別会計	125,097
後期高齢者医療特別会計	225,166
国民健康保険診療所事業特別会計	333,518
国民健康保険病院事業会計(収益的収支)	580,181
国民健康保険病院事業会計(資本的収支)	46,400
特 別 会 計 小 計	3,759,845
合 計	10,862,565

平成26年度 一般会計予算(歳出)

(単位:千円、%)

目 的 別 区 分	金額	構成率
議 会 費	76,274	1.1
総 務 費	1,019,874	14.4
民 生 費	834,133	11.7
衛 生 費	440,488	6.2
農 林 水 産 業 費	1,062,242	15.0
商 工 費	183,336	2.6
土 木 費	472,072	6.7
消 防 費	145,055	2.0
教 育 費	463,503	6.5
災 害 復 旧 費	28,122	0.4
公 債 費	1,211,386	17.1
諸 支 出 金	1,146,235	16.1
予 備 費	20,000	0.3
計	7,102,720	100.0

宇納間地蔵尊大祭 60年に1度のご開帳

旧暦1月24日(土)を中日とした宇納間地蔵尊大祭が、2月22日(土)から24日(月)の3日間にわたり盛大に開催されました。

今年は60年に1度の地蔵尊ご開帳の年にあたり、例年の倍以上となる約5万人の参拝者が火伏せ地蔵に手をあわせ、鎮防火災を祈願していました。このご開帳は神仏混合の流れをくむ祭事とされ、60年は生まれ変わりやよみがえりの周期とされているため古くからこのように行われているそうです。

江戸で大火が起った際に大雨を降らせて鎮火させたと伝えられる宇納間地蔵尊。大祭3日間のうち1日は雨が降るという話もよく耳にしますが、今年の大祭は3日間晴天に恵まれました。

特に初日は地蔵尊が鉄城山山頂より全長寺本堂に降りて来られるということもあり、その様子を一目見ようと早朝から多くの参拝者が訪れました。例年3日間のうち参拝者が特に多い中日においては、今回も同様に駐車場の満車状態が途切れることはありませんでした。また、歩行者天国においても100軒以上の店が軒を連ねており、美郷町の特産品やお土産を買い求める姿もみられました。

初日の夜には宇納間地蔵尊の院である市木地蔵において、臼太鼓踊りが奉納されました。60年振りの地蔵尊の里帰りとなった今回は、地元保存会の踊り手達にも熱が入り、参拝者から大きな拍手が送られていました。

また中日と最終日には、大祭の名物となつて

いるエイサー演舞も行われ、北郷地区のエイサーグループ「絆」と「琉星會(りゅうせいかい)」、沖繩のエイサーサークル「鼓(ちむ)ちん(じん)衆(しゅ)しんか」の3チームが躍動感の溢れるエイサーを披露し、60年に1度という大祭に華を添えました。

「火伏せ地蔵」として広く信仰を集める宇納間地蔵尊。

今回のご開帳においてご拝願した参拝者の方々は、改めて火災予防について心を律することが出来たのではないのでしょうか。

この宇納間地蔵尊の麓である美郷町において今後も火災ゼロを目指し、普段からお互いに声を掛け合っていきたいと思います。



市木臼太鼓踊り



エイサーが大祭に華を添える



沖繩の鼓衆しんかの演舞



参拝者の様子 歩行者天国

2014石峠レイクランド健康ウォーキング

2月16日(日)に石峠レイクランド周辺の林道や町道を周回する「2014石峠レイクランド健康ウォーキング」が開催され、子供から大人まで約180名の参加者が集まりました。

当日は、快晴で前々日の雪の影響で山肌には雪が残っていましたが、参加者はレイクランド前に広がる湖畔や山々の景色を眺めたり写真撮影をしたりして思い思いに楽しんでいました。

また、コースの折り返し地点では、西郷商工会女性部の協力による金柑の振る舞いがあり、参加者の皆さんから喜ばれていました。ゴール後の会場では特産品や宿泊券等の抽選会もあり、参加された方は早春の穏やかな1日を楽しんで過ごしていました。



みんな元気に参加者のウォーキング風景



商工会女性部の金柑の振る舞い



開会式の様子

平成26年3月期子牛郡共進会

藤島文彦さん(西郷地区)去勢子牛の部 優等賞首席



平成26年2月27日(木)に延岡家畜市場で開催された平成26年3月期子牛郡共進会において、西郷地区・藤島文彦さん生産の去勢子牛「黒王198」号(勝平正×福桜×上福)が優等賞首席を受賞しました。

日頃の飼育管理に敬意を表するとともに、今後益々のご活躍を期待します。



経営者の川田涼子さん

ご飯屋	涼(すず)
所在地	美郷町西郷田代354番地 (峰公民館となり)
電話番号	(携帯)080-5207-6100 又は0982-66-3054
操業年	平成26年2月10日開業
勤務先	川田 涼子

Q1 起業、勤務しようと思ったきっかけ
普通の家庭の主婦でこれといった特技もなく……ただ家族に作る料理は手抜きなく愛情込めて作っていました。家族に作るような家庭料理を皆様が集う場所で提供できたらという思いでご飯屋を開業いたしました。

Q2 事業のPRポイント
飲食店がどんどん減っていく中で、自分だけでなく、少しでもみんなが地元で元気になるほしいと思い料理を作っています。入り口にはあったかい薪ストーブでお出迎え、薪ストーブで作る料理も提供していきます。昼11:00~14:00まで、日替わり定食500円(セルフコーヒーマスターサービス付)うどん等。夜17:30~22:00まで宴会は収容人数20名ほど(予算は相談に応じます)お気軽にお立ち寄りください。ご希望の料理にもなるべく対応していきたいと思っております。

Q3 趣味や特技、熱中していることや家族のことなど(何でも結構です)
毎週木曜日(冬季休部)にバドミントンサークルで、汗を流していました。これから参加できるか心配です。でも体力づくりの為に頑張っけて続けていきたいです。家族は主人と子供3人(皆社会人になりました)



落ち着いた店内

頑張っています商工会！⑥

町内の商工会会員や従業員をシリーズで紹介

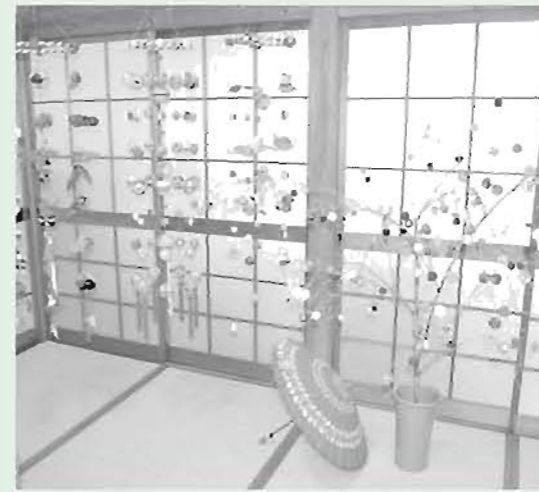
平成25年度 美郷町子誉め表彰受賞者

美郷町子誉め表彰とは、優れた個性、能力及び社会性を持ち、他の模範となる児童生徒に対して、町長から表彰されるものです。今年度は8名の児童生徒が選ばれ、表彰状と金メダルが贈られました。

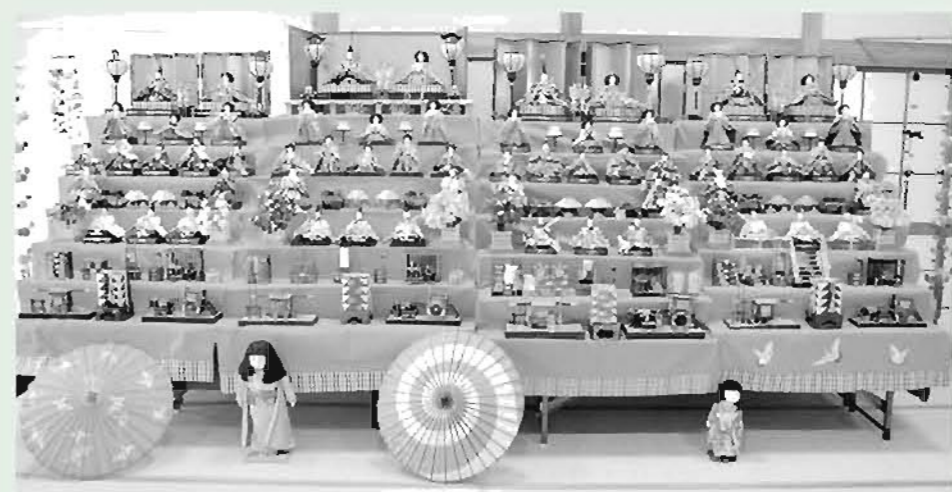
学校名	学年	氏名	賞の部門
美郷南学園	6年	今田 愛依さん	努力賞
田代小学校	6年	甲斐 真生さん	努力賞
北郷小学校	6年	西田 伍希さん	学芸賞
北郷小学校	6年	上杉 文乃さん	読書賞

学校名	学年	氏名	賞の部門
黒木小学校	6年	川名 晃平さん	体育賞
美郷南学園	9年	中東 希良里さん	努力賞
西郷中学校	3年	黒木 智瑛さん	学芸賞
北郷中学校	3年	黒木 香菜さん	健康賞

『お雛さまとさげ飾り展』開催



3月1日(土)から3月3日(月)までの3日間、年の神社社・伝統芸能伝習館において、「お雛さまとさげ飾り展」が開催されました。展示会は、桃の節句に合わせて、生きがい教室つるし飾り教室の受講生により企画され、家庭から持ち寄ったお雛さま飾りや教室で制作したつるし飾りなどを展示して、伝習館和室の一室を華やかに彩りました。訪れた方からは、「家では飾ることがなくなつたお雛様が、たくさん並んでいるところを見られて嬉しい。」「つるし飾りはあまり見る機会がないので、来て良かった。」といった声が聞かれ、ちりめん布で作られた人形や木目込みまりなど、飾りのひとつひとつに見入っていました。町外から見に来られた方も多く、展示会は大きな賑わいを見せました。



た人形や木目込みまりなど、飾りのひとつひとつに見入っていました。町外から見に来られた方も多く、展示会は大きな賑わいを見せました。

桜の開花が楽しみ 道案内版設置

3月2日、本町に何十年振りに降った雪が2週間あまり経つたにもかかわらず、西郷地区上区桜山は、20センチほどの雪が残っていました。標高千メートル近くある、ここに平成6年に植栽した約1ヘクタールの桜山があり、約200本の桜が斜面一帯に咲き誇る満開時は、山腹に見事な光景を創出します。しかもこの桜は、麓の国道沿いの桜より10日ほど遅れて開花します。場所は、上区コミューニティセンターから林道を登ること車で約30分。曲がりくねった林道で、はじめての人は、迷ってしまう。そこで、地元の有志が2日、杉の丸太で工作した道案内版を設置しました。自然にマッチしたすばらしい案内版です。案内板にはふくろうも制作されました。ふくろうは、「森の哲学者」と言われ、きつと迷う人も導いてくれるはず。さらに今年には桜のテングス病も有志で除去しました。上区の桜山、まだまだ認知されていない隠れた景勝地ですが、今年の桜の開花が楽しみです。





平成25年度町教育研究所員

美郷町小・中学校教職員 教育研究論文の表彰

2月27日(木)、本年度の教職員教育研究論文表彰式を行いました。美郷町では、毎年教職員を対象に教育研究論文を募集しており、今年も24編もの応募がありました。いずれも各学校、児童生徒が抱える課題解決のために工夫改善を重ねた素晴らしい内容ばかりでした。

当日は、1、2席の入賞者による発表とともに、本年度の美郷町教育研究所による算数・数学科における「活用する力」の研究発表も行われました。これらの研究成果が美郷町全体のさらなる教育力向上につながるものと思われます。

研究論文の受賞者及び研究所員は次のとおりです。

一 席		入 選	
北郷小学校	松浦 悟史	北郷中学校	田詰 博美
二 席			福松 直樹
黒木小学校	宮崎 卓也		原田 昌典
黒木小学校	田中 祐子		金丸 宜弘
三 席			牧野 将太
田代小学校	川越 秀樹	奨励賞	
北郷小学校	中原 陽子	北郷中学校	菅沼 彰洋
美郷南学園	倉田 和也	学校賞	
美郷南学園	竹口 幸一	黒木小学校	
入 選			
美郷南学園	小谷 智子		
	平田由美子		
	垂水裕佳子		
	福島由太郎		
田代小学校	中原 照美		
	船木 浩平		
	加藤 美沙		
黒木小学校	中野 誠子		
	岡本 理恵		
	清 幸貴		

美郷町教育研究所員

後藤 吉道(田代小)
 安保 隆昭(西郷中)
 河野 一郎(北郷小)
 竹口 幸一(美郷南学園)
 川越 秀樹(田代小)
 宮崎 卓也(黒木小)
 新田 尚子(美郷南学園)
 牧野 将太(北郷中)



教育論文1, 2, 3席、奨励賞の入賞者

美郷町生涯学習講座 「生きがい教室」・「長寿学園」



南郷「山霧学園・健康スポーツ教室」



西郷「御田の里学園・料理教室」



北郷「着付け教室」

教育委員会では、生きがいや健康づくりの促進と学習グループの育成を目的として、「生きがい教室」を開催しています。

平成25年度は「着付け教室」・「つるし飾り教室」・「韓国語講座」などが開講され、受講生は趣味や交流を楽しみながら、それぞれの教室の活動に、意欲的に取り組んでいました。

また、高齢者層を対象に、交流の中で教養や見識を高め、地域のリーダーとなる人材を育成することを目的として、「長寿学園」を実施しています。

西郷「御田の里学園」・南郷「山霧学園」・北郷「星のふるさと学園」の学園生として、視察研修や健康スポーツ教室、料理教室などの講座に取り組みました。美郷町・諸塚村・椎葉村合同による交流会も開催され、学園生間の交流を深めました。

平成26年度も「生きがい教室」・「長寿学園」の開催を計画しています。全戸配布文書や組合回覧などで募集案内を行いますので、興味のある方は、ご家族やご友人もお誘い合わせのうえ是非ご応募ください。

お問い合わせ先:教育課生涯学習担当

本所(西郷) ☎ 66-3608 南郷事務所 ☎ 59-1605 北郷事務所 ☎ 62-6205

地域の安全は地域で守ろう

春の行楽シーズンを迎え、空き巣、バイク・自転車等の乗物盗、新入学児童をはじめ児童生徒を対象とした声かけ事案等の事件・事故等が増加することが予想されます。

これらの犯罪を未然に防止するため、関係機関が一体となり、積極的な見守り活動、パトロール、広報等の諸活動を推進し、地域の日常生活の安全安心を確保することを目的に、4月1日(火)から10日(木)までの10日間「春の地域安全運動」を実施します。

地域の安全を守るため、「地域の安全は地域で守る」という強い意識を持って、積極的に地域安全活動に参加しましょう。

☆春の地域安全運動の重点

1. 子どもや女性、高齢者の犯罪被害防止
2. 住宅や車、自転車の「鍵かけ」運動の推進
3. 地域の目による万引きの防止
4. 地域を見守る自主防犯活動の推進

わたがし機 貸し出します

美郷町子ども会育成連絡協議会(会長 下田恭崇)では、東白杵社会教育協会及び東白杵郡子ども会育成連絡協議会の助成を受け、「わたがし機」を購入しました。地域の子ども会行事や、公民館活動等でぜひご利用ください。

貸し出しを希望する方は、教育委員会までご連絡ください。なお、材料等は使用する方がご用意ください。また、私用の貸し出しは出来ませんので、ご了承ください。

お問い合わせ:教育課生涯学習担当 ☎ 66-3608



美郷の温故知新

「小八峡橋」

(こやかえばし)

西郷地区上八峡地区に昭和2年に架橋されています。現在は両側が拡張されていますが、石橋部分の幅は約1.8mです。その上に橋面を広くするため50cmほど張り出す工夫がなされています。また、写真でもわかるように、壁石の表面も見事にそろえられ、全体のバランスが整った趣深い石橋です。

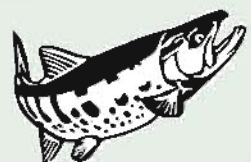


ヤマメ釣り大会

美郷町と門川町を流れ日向灘に流れ込む清流「五十鈴川」。この川の素晴らしさを多くの方に知っていただくため、北郷商工会青年部が主催しているこの催し。美郷町のレジャーシーズンの訪れをつける、春の人気イベントです。会場内のプールでは、ヤマメのつかみ取り大会も行われ、子供達の歓声で賑わいます。ご家族お揃いでぜひご参加ください。



- 【開催日】平成26年4月27日(日)※大雨の場合は5月中旬に延期
- 【受付会場】美郷町北郷宇納間小原(こばる)地区 小原多目的集会施設
- 【参加料】高校生以上 1,000円 小・中学生 500円 未就学児 無料
- 【受付開始時間】午前6時 【釣り競技時間】受付後～11時
- 【つかみ取り大会】午前10時～11時
- 【主催】北郷商工会青年部 【協賛】北郷商工会、美郷町観光協会北郷支部
- 【お問合せ先】北郷商工会 ☎0982-62-5895 FAX:0982-62-6104



春の全国交通安全運動実施 4月6日～15日

「ストップ!脇見 ぼんやり運転」をスローガンに、4月6日(日)から15日(火)までの10日間、春の全国交通安全運動が実施されます。春の全国交通安全運動では、新入学児童等に対する交通ルールと交通マナーの習慣付けが重要課題となるとともに、高齢者の交通事故等に的確に対処するため、「子どもと高齢者の交通事故防止」を運動の基本としています。また、運動期間中は、交通安全に対する意識の向上を図るため、通学時の街頭指導や、国道沿いで交通指導所を設置いたしますので、町民のみなさんのご協力をお願いします。

全国交通安全年間スローガン

- 【運転者(同乗者を含む)に呼びかけるもの】発進は チャイルドシートの笑顔見て
- 【歩行者・自転車利用者に呼びかけるもの】いい老後 元気生きがい 交通安全
- 【こども部門】につぼんを じまんしようよ 事故ゼロで

美郷町の観光スポット

観光シリーズNo.8

「中小屋天文台昇ドーム」



第8回目の今回は北郷地区の「中小屋天文台昇ドーム」をご紹介します。中小屋天文台は、宇納間地藏尊参道入口から日之影方面へ県道を約10km進み、中小屋峠の三差路を左に1kmほど進んだ所にあります。標高約1000mの中小屋



峠は周囲に人工の灯がなく、天体観測に最適の場所です。昇ドームには口径60cmの望遠鏡が備えてあり、月や火星・金星などの惑星を観測することができます。この望遠鏡を使った観測には予約が必要ですので、北郷支所企画情報課(☎62-6201)へお問い合わせください。日中は星を見ることはできませんが、周囲の1000m級の山々を一望でき、雨上がりに山々から立ち上がる霧は、吹き下ろしの風によって姿形を変え続け、私たちの目を離さないでしょう。近くの宿泊施設スカイロッジ銀河村と併せてのご利用をお待ちしています。

お問い合わせ先:美郷町役場北郷支所 企画情報課 ☎0982-62-6201

広域情報 扇山山開き

扇山山開きでは、安全祈願祭やテンプカットのほかに、宝探しのイベントも計画されています。登山道も比較的登りやすく、概ね1時間30分で頂上まで登ることが出来ます。石楠花が咲き、小鳥の心地よいさえずりを聞ける中の登山。扇山の雄大な自然に浸ってみませんか?ご家族、ご友人とぜひご参加ください。



日時:5月11日(日)受付開始
午前9時30分から

場所:扇山松木登山口

問合せ先:椎葉村観光協会

FAX ☎ 6867-7310319

宮崎県最低賃金について

平成25年11月2日より宮崎県最低賃金が従来の額より11円引き上げられ、1時間あたり64円になりました。事業所の皆様におかれましては、賃金の支払の際にご注意ください。なお、最低賃金につきましては、臨時、パート、アルバイトを含めた全ての労働者に適用されます。使用者は、この最低賃金額以上の賃金を労働者に支払わなければなりません。最低賃金の事で、ご不明な点がありましたら下記までお問い合わせ下さい。

・宮崎労働局 賃金室 ☎0985-38-8836 ・延岡労働基準監督署 ☎0982-34-3331

読書ボランティアを募集します

教育委員会では、「読書ボランティア」を募集します。本や読書が好きでやる気のある方であれば、年齢性別は問いません。
希望をされる方は、教育委員会本所・各支所または町立図書館各館に備えつけの申込書に必要事項を記入のうえ、4月11日(金)までに教育委員会まで提出をお願いします。

読書ボランティアに申し込まれた方は…

- ・「美郷町読書ボランティア」に登録します。
- ・乳幼児健診時等での読み聞かせやそれに関するお世話、町立図書館他での読み聞かせに派遣します。
- ・県等が主催する読書や読み聞かせに関する研修や講演会をご案内します。



お問い合わせ：教育課生涯学習担当 本所 ☎66-3608
南郷事務所 ☎59-1605
北郷事務所 ☎62-6205

税務だより

○軽自動車税の減免について

障がい者が所有し自ら運転する車両や、障がい者を常時介護する者が運転する車両、又は障がい者と生計を一にする者が専らその障がい者のために運転する車両については、軽自動車税が減免される規定があります。
減免には、本人又は家族の申請が必要となります。

【申請期限】

納税通知書発行後から4月23日まで(納期限の7日前まで)

※申請期限を過ぎた場合は、減免受けられませんので、ご注意ください。

【申請に必要なもの】

- ①身体障害者手帳、療育手帳、戦傷 病手帳のいずれか
- ②運転免許証
- ③印鑑

【注意点】

☆この制度は毎年申請が必要となります。
☆減免には適用範囲があります

忘れていませんか？ 軽自動車の廃車手続!!

軽自動車税は、4月1日現在の所有者に課税されます。

※廃車(廃棄・譲渡・盗難・紛失・その他)した場合は、役場財務課で、手続きをしてください。

本所 財務課	☎ 66-3602
各支所 財務課	☎ 6259-1606
南郷支所	☎ 62001
北郷支所	☎ 62001

ので、詳しくは美郷町役場財務課までお問い合わせください。
☆減免は、普通自動車を含め一人一台に限ります。
☆申請は、本所及び各支所財務課で受付ます。

70~74歳の被保険者に係る医療費の窓口負担が変わります

70歳から74歳の方の窓口負担は、法律上2割となっていますが、特例措置でこれまで1割負担とされてきました。平成26年度から、より公平な仕組みとするため、この特例措置が見直されることとなりました。見直しに当たっては、高齢の方の生活に大きな影響が生じることのないよう、平成26年4月2日以降70歳の誕生日を迎える方から段階的に実施されることとなりました。

○平成26年4月2日以降に70歳の誕生日を迎える方 (誕生日が昭和19年4月2日以降の方)

・70歳の誕生月の翌月(ただし、各月1日が誕生日の方はその月)の診療から、窓口負担が2割になります。
(例えば、平成26年4月2日~5月1日に70歳の誕生日を迎える方は、5月の診療から2割負担になります。)

※一定の所得がある方は、これまでどおり3割負担です。

・なお、窓口負担には毎月の負担上限額が定められていますが、70歳から2割負担となる方は、69歳までと比べて上限額が下がります。

○平成26年4月1日までに70歳の誕生日を迎えた方 (誕生日が昭和19年4月1日までの方)

・平成26年4月以降も医療費の窓口負担は1割のまま変わりません。
(平成26年3月2日~4月1日に70歳の誕生日を迎える方は、これまでの3割負担から1割負担になります。)

※一定の所得がある方は、これまでどおり3割負担です。

・窓口負担の毎月の負担上限額も変わりません。



不明な点は、町民生活課(☎66-3604)へお問合せください。

それでも僕は夢を見る (一般書)

水野敬也/鉄拳(画) 著

「夢をかなえるゾウ」の水野敬也と鉄拳がタッグを組んだ、しっとり泣けてほんわか温かくなる珠玉の一冊。

アイスプラネット (YA) 椎名 誠 著

世界中を見てきた「ぐうちゃん」の「ほら話」の数々。日常を見る目が変わる。中学2年生の国語教科書に掲載されている「アイスプラネット」の続編。

電話	休館日	開館時間	種類	書名	著者名等
南郷図書館 59-1605	月 祝日	9:30 ~ 18:00 ※土・日 17:00	一般	豆の上で眠る	湊 かなえ
			一般	決意とリボン	林 真理子
			一般	ワイフ・プロジェクト	グラム・シムシオン
			YA	砂漠の王子とタンズムの樹	足立 明
			児童	暗号クラブ 1~3	ベニー・ワーナー
			絵本	えきのひ	加藤 久仁生
			一般	仮面同窓会	栗井 脩介
			一般	長女たち	篠田 節子
			一般	ギネス世界記録2014	クレイグ・グレンディ
			YA	武器より一冊の本をください	ヴィヴィアナ・マツツア
西郷図書館 66-2636	月 祝日	9:30 ~ 18:00 ※土・日 17:00	児童	ふしぎ駄菓子屋 銭天堂 2	廣嶋 玲子
			絵本	りょうりをしてはいけないなべ	シゲタサヤカ
			一般	首都崩壊	高嶋 哲夫
			一般	黎明の笛	数多 久遠
北郷図書館 62-6205	月 祝日	9:30 ~ 18:00 ※土・日 17:00	一般	本当に旨いサンドウィッチの作り方100	ホテルニューオータニ
			YA	雨の降る日は学校に行かない	相沢 沙呼
			児童	まどさんからの手紙 こどもたちへ	まど・みちお
			絵本	ならんでるならんでる	竹下 文子

※利用したい図書等のご要望がございましたら、お近くの図書館にお気軽にご連絡下さい。参考にさせていただきます。

新着図書のご紹介

今月は南郷図書館から
オススメの2冊を紹介します。

美郷町青少年育成協議会からのお知らせ

美郷町青少年育成協議会〔会長(町長) 尾畑英幸〕では、平成26年度の活動方針を決定し、下記の4項目を重点目標とした運動を展開することになりました。

関係機関・団体の皆様のご協力をお願いいたします。

- ☆(1)家庭の教育力の向上〔みさと家庭教育10選(実践)運動の展開〕
- (2)地域における青少年の健全育成(連携)
- (3)青少年のための健全な環境づくりの推進
- (4)青少年の自立と社会参加活動の推進

☆については、青少年育成協議会を母体とし、「美郷町親子学びあい実行委員会」を組織して全町的に取り組むこととしています。

具体的な取り組みとして、「あいさつとひと声運動 み3・さと30の日」(毎月3日と30日にあいさつ運動)等があります。

みさと家庭教育10選(実践)

がまんは喜びを生む

- がまんと努力の積み重ねによる成就の喜びを教えよう!
- 買って与える前にちょっと考えよう
- がまんする体験を多く持つ子はすぐキレたりしない

命を育む思いやりの心

- 命は一つ 生きる喜びの実感を伝えよう
- 命の尊さ 思いやりの心は身近な体験から
- 思いやりの心と言葉で 豊かな人間関係を

手伝いは社会的自立の第一歩

- 「お手伝いしたい」の気持ちを大切に
- 屋外の手伝いもしっかりさせよう
- 働く喜びや大切さを味わわせ 将来の夢やあこがれを育てよう

遊びは心と体の栄養素

- 自然とのふれあいをもちせよう
- 子どもどうしの遊び・スポーツを大切に
- 人と仲良く 物を大事に遊ばせよう

ルールは社会性を学ぶ第一歩

- 家での約束が守れたらしっかりほめよう
- ルールを守る子は多くの友達ができる
- 公共の場でのマナーを大切に

夢は子どもをおおきく育てる

- 過干渉・過保護をやめて 子どもの夢を育もう
- できた!の喜びが夢を育てる
- 「なぜ」「どうして」の疑問が夢を育てる

「もったいない」を大切に

- ものに感謝して大切に使う生活習慣を
- 好き嫌いをなくして元気な体を
- ポイ捨ては心と地球を汚すもと

絵本や読書で豊かな感性を

- 幼いときからの読み聞かせが読書好きをつくる
- 感動したり想像したりする楽しさを教えよう
- 「我が家の「家話(うちどく)」をはじめよう」

楽しい食事で一家だんらん

- わが家の食卓 はずむ話題でおいしい食事
- 身につけよう 食事作法は家庭から
- 進んでさせよう 食事準備と後片づけ

あいさつはいつでもどこでも誰とでも

- 「ありがとう」「おはよう」「～てきます」は家庭から
- 気持ちよいあいさつは人の心をなごませる
- 明るいあいさつは心の扉をあける「鍵」

美郷町教育委員会内

美郷町親子学びあい実行委員会

家庭教師等に要する相談電話:66-3608(FAX:66-2131)

しっかりほめて きちんと叱ろう 子育ての悩み 相談すれば道は開ける
大人が変われば 子どもも変わる 祖父母 友達 近所の人の力も借りよう

来月号より、10選を1つずつ紹介します!

経済センサスー基礎調査及び商業統計調査実施

平成26年7月1日を期日に経済センサスー基礎調査及び商業統計調査が行われます。

・経済センサスー基礎調査について

調査の範囲は全国すべての事業所及び企業が対象となります。調査項目は事業の種類及び業態、年間総売上(収入)金額、外国資本比率などです。

・商業統計調査について

調査の範囲は卸売業・小売業を営む全国すべての事業所及び企業が対象となります。調査項目は年間商品販売額等、年間商品販売額の販売方法別割合などです。

あなたの回答が、日本経済の力になります。みんなが主役の調査です。調査対象事業所には、調査員の方が伺いますので調査にご協力いただくよう、よろしくお願ひします。

国民健康保険の異動届をお忘れなく

春は健康保険の異動が多い季節です!

3月から4月にかけては、学校の卒業、会社への就職など、異動の多い季節です。異動に伴い、加入している健康保険が変わる場合があります。学生が就職し社会人になるときは、親(扶養者)から独立して職場の健康保険に加入することになります。また、反対に退職や失業などでサラリーマン生活をやめるときには、職場の健康保険から市町村の国民健康保険に加入しなければなりませんので、脱退・加入の届出を忘れないようにしましょう。

●美郷町国民健康保険に加入するとき

- ①他の市町村から転入したとき(職場の健康保険などに加入していないとき)
- ②職場の健康保険などをやめたとき
- ③子どもが生まれたとき
- ④生活保護を受けなくなったとき

●美郷町国民健康保険の資格を喪失するとき

- ①他の市町村へ転出したとき(職場の健康保険などに加入していないとき)
- ②職場の健康保険などへ加入したとき
- ③死亡したとき
- ④生活保護を受け始めたとき

●修学のために転出する場合

大学進学など、修学のために転出する場合は、国保へ届け出ないと、国保の資格を喪失し、保険証が使えなくなります。また、修学を終えたら、その旨の届出も忘れずにしてください。

問合せ先:町民生活課 ☎66-3604

美郷町高校生就学支援補助金について

高校生を持つ保護者に対して、高校生就学支援補助金が交付されます。補助金額は、生徒ひとりにつき月額10,000円です(4月と8月を除く年間10カ月の交付)。

下記の要領で申請書類の配布及び受付を行いますので、忘れずに申請をしてください。

○書類の配布及び申請受付期間

平成26年4月1日(火)~4月18日(金)

○詳しい内容のお問い合わせ先

美郷町教育委員会

本所 ☎66-3608

南郷事務所 ☎59-1605

北郷事務所 ☎62-6205



○書類配布及び申請窓口

美郷町教育委員会及び各支所

市町村交通災害共済をご存じですか?

宮崎縣市町村交通災害共済は、国内で交通事故に遭い、万が一死傷した場合に見舞金が支払われる制度です。一人500円の掛金で、万が一に備え、加入しませんか?

期間:平成26年4月1日~平成27年3月31日

(4月以降の加入は加入日から平成27年3月31日となります。)

掛金:一人500円(掛金は原則返還しません。)

申込方法:各世帯に配布した申込書に必要事項を記入の上、掛金を添えてゆうちょ銀行または各支所総務課にご提出ください。

見舞金の内容:医師の治療実日数7日以上90日未満の障害で交通事故証明が無い場合 1万円

死亡の場合 100万円(その他治療日数により見舞金の額が変わります)

問い合わせ先:役場総務課(Tel.66-3601)

4月保健事業予定

日	内容
南郷 18金	赤ちゃん相談 (10:00~ 南郷保健センター)
西郷 11金	乳児健診 (13:30~ 西郷生きいきトレーニングセンター)
北郷 3木	うりぼうの広場 (10:00~ 北郷保健センター)
10木	うりぼうの広場 (10:00~ 北郷保健センター)
17木	うりぼうの広場 (10:00~ 北郷保健センター)
24木	うりぼうの広場 (10:00~ 北郷保健センター)

地域医療だより

美郷町国民健康保険西郷病院 副院長 小田 竜

美郷町の皆様こんにちは。西郷病院の小田竜です。此の度3月をもちまして異動が決まりました。6年間勤務した西郷病院を去り、4月からは県立宮崎病院での勤務となります。6年間、家族共々大変お世話になりました。美郷町での6年間は、自分にとっても家族にとっても、かけがえのないものとなりました。多くの出会いに心から感謝しております。

自分は小さい頃から僻地診療に携わるのが夢でした。(そのため自治医科大学に進学したわけですが…)ですから、いずれまた僻地診療の現場に戻りたいと考えております。そのためにも、県立宮崎病院では更なる技術修練に励むつもりです。また成長できた後、美郷との縁があれば嬉しく思います。

尚、後任には自治医科大学の後輩であります 村岡辰彦先生 が着任されます。次回の町報に自己紹介と挨拶が載るとは思います。気さくで優しい先生ですので、何か困ったことがありますしたら気安く相談に来られてください。では、美郷町のますますのご発展を祈りまして、異動の挨拶といたします。本当にありがとうございました。



異動のご挨拶

美郷町国民健康保険南郷診療所 所長 増田 浩一

美郷町の皆さまにおかれましては、普段より南郷診療所をお引き立て頂き、誠にありがとうございます。早いもので、美郷町国民健康保険南郷診療所へ赴任致しまして、約1年間が経ちました。私は約8年前に栃木県にあり、自治医科大学を卒業し、高千穂町、椎葉村、美郷町で地域医療に従事してきました。どの土地も大変素晴らしい自然、文化、人々があり、宮崎の素晴らしさ、郷土への愛情を再認識したところです。自治医科大学は「医療の谷間に灯をともし」の建学の精神の元、各県から毎年約百名の卒業生を輩出し、全国各地の僻地医療に従事しています。私自身も宮崎県代表として、卒業後は宮崎県医療薬務課に入庁致しまして、現在も宮崎県庁医療薬務課から、美郷町へ出向しているとの立場に立っています。

この1年間を振り返りますと、前任者の離職や異動に伴い、赴任当初は、私医師1名体制での診療体制となり、美郷町、特に南郷区の皆様方には大変ご迷惑をお掛け致しました。5月末から同じ自治医科大学の後輩であります、赤谷由佳先生に赴任頂き、南郷区で素晴らしい活躍を頂き、職員一丸となり、地域医療に貢献できる体制が維持出来たかと思われまします。

また、美郷町、特に南郷区の皆さまには、公私ともに大変お世話になりました。この場をもちまして、心から感謝申し上げます。そして、1年で異動する事になり、大変な御心配をお掛けすることになりました事を、心よりお詫言ひ申し上げます。

私自身は、平成26年4月1日から、県立宮崎病院循環器科兼地域医療科に所属しまして、広い立場から宮崎県の医療に貢献していきたいと考えております。今後は小田先生と共に、県立宮崎病院地域医療科の医師として、宮崎県が安心して住む事の出来る医療体制の構築を目指し、新たな場所一杯張り合いと思っております。1年間ありがとうございました。また、いつの日かお会いしましょう。



ストップ!未成年者飲酒

未成年者に安易にお酒を勧めてはいけません。
4月は「未成年者飲酒防止強調月間」です!

未成年者の飲酒は法律(未成年者飲酒禁止法)で禁じられています

飲酒のきっかけは「親から勧められて…」が多いのが現状です。親側がお酒に寛容すぎるのが問題のようです。未成年者がお酒を飲んではいけないのにはちゃんと理由があります。親や周囲の大人達はその害をしっかりと受け止め、未成年者に安易にお酒を勧めないようにしましょう。

…お酒が未成年者に及ぼす害…

脳機能の低下

肝臓などの臓器への障害

性ホルモンへの影響

アルコール依存症になりやすくなる



認知症予防サポートの講習に参加して

年々歳を重ねる中、新聞やテレビ等で認知症に関する番組が多く、病で長い間安静を強いられていましたが、自分の閉じこもり不安を感じるようになり講習に参加しました。

覚えたかったパソコンを指導して頂けると聞き1週間に一度の勉強会に4か月頑張ってみました。何とか元気で夫婦二人の生活を継続させたい気持ちも有り、遠方に居る子供たちに迷惑が掛からないよう認知症予防を今からでも遅くないとグループの仲間と予防に役立つ活動を続けています。

ミニコミ誌を作成し、今年度は教育委員会の生涯教育に参加させて頂き親切な指導者のもとで、沢山の操作を教えて頂きました。忘れては又教えて頂き少しずつパソコンの操作が出来ようになり楽しい時間を過ごせるようになっていきます。完全に理解は出来ていませんがもっと知りたい気持ちが多くなってきました。

町報にパソコンセミナーに参加の募集が有り、理解できるのか心配しながら何か一つでも…と参加しました。パソコンはこんなものと思って貰えればと聞かされ気楽に講習に出向きました。



- ☆パソコンの入門
- ☆パソコン構成部品について(パソコンの内臓部品を見せて頂く)
- ☆フェイスブックをはじめよう
- ☆ツイッターをはじめよう
- ☆セキュリティ情報(パソコンを安全に使うために)



私には少し難しい講習でしたがフェイスブックに挑戦してみました。しかし完成度は50%とあり、挑戦しているところですがこれも認知症予防に繋がればと自分なりに慰めています。パソコンに夢中に成って体調の不調を忘れる事も私にとって必要な一つに成りました。県や町の取り組みに感謝の気持ちをお伝えします。これからも叱咤激励よろしくお願い致します。

十人十色やっちみろ会 立中